

令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 80
ID 603212

【施設状況】

グループ名称	吉田公民館、吉田老人福祉センター										
指定管理者名	吉田地区住民自治協議会						法人番号	1700150073963			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副	101000	高齢者活躍支援課				
構成施設	3313	吉田公民館									
	1380	吉田老人福祉センター									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【公民館】：教室1、教室2、教室3、教室4、大教室、和室・茶室、音楽室、調理室、多目的ホール、図書館分室、資料室 【老人福祉センター】：ボランティアルーム1 【共通】：事務室										
施設設置目的	【公民館】：地域住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の拠点として、より開かれた身近な地域の中心施設としてまちづくりに貢献することを目的とする。 【老人福祉センター】：高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。										
基本方針等	【公民館】：社会教育法の規定に基づき、住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するという設置理念に基づき管理運営を行う。 【老人福祉センター】：施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいづくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。										
主な実施事業	【公民館】：定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共の利用に供すること。貸館に関すること。 【老人福祉センター】：高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	吉田地区住民自治協議会				当該指定管理者の 指定回数	2 回
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成29年4月1日
指定 管理者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

		利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価	
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	吉田公民館 利用者数		人	20,987	29,765	35,608	34,324	96%		
	吉田公民館 利用率		%	21.4	28.8	31.7	32.1	101%		
	老福：生きがいづくり講座受講者数		人	1,667	3,203	2,919	3,752	129%		
	老福：地域福祉活動利用者数		人	69	56	76	365	480%		
	老福：グループ活動利用者数		人	481	376	91	124	136%		
		(特記事項) 利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均(図書室を除く)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案				追加事業、未実施事業及び未実施の理由				3
	市指定事業	【公民館】 ・公民館の利用の許可に関する業務・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務・公民館の付帯設備及び物品の維持管理に関する業務 【老人福祉センター】 ・老人福祉センターの利用の許可に関する業務 ・老人福祉センター条例第4条第1項に規定する事業の実施に関する業務 ・老人福祉センターの施設及び設備の維持管理に関する業務								
	自主事業	提案を求めている								
サービス維持・向上の取組み (広報等)		【公民館・老人福祉センター共通】 ・公民館報 2回/年、ノルデだより 2回/年 の発行(全戸配布)。また、ホームページの更新や、YouTubeの動画など、スムーズな情報発信で分かり易く、親しみの持てる施設を目指した。 ・上記のほか、区長等の協力を得て、頻繁に講座案内のチラシを回覧した。また「広報ながの」「生涯学習だより」やマスメディア(週刊長野、市民新聞)も活用した。								

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	【公民館・老人福祉センター共通】 ・講座受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには、今後受講してみたい講座の内容等を記載する欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者には、利用簿に要望記載箇所を設けるとともに、鍵の返却時等に聞き取りを実施した。	
		(3) 調査、会議等の結果	【公民館】 実施した一般講座：22講座(47回) 講座参加者数：401人 アンケート回答者数350人 満足：91.1% やや満足：6.0% やや不満0.3% 不満：0% (満足+やや満足 97.1%) 【老人福祉センター】 生きがいづくり講座 10講座 参加者588人 アンケート回答者数 497人 とても良い307人(52.2%)、良い146人(24.8%) (計77.0%)	
	利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価	【公民館】 どの講座においても、内容や講師への満足度が高く好評だった。 広いホワイエを備え、利用目的に応じて様々な活用ができる多目的ホールの設備の評価が極めて高い。 大変音質の良いグランドピアノの評価も高い。 職員に対しては、「毎回丁寧な対応で、事前の説明も何回でも丁寧に教えていただいている。土日でも、可動観覧席の準備やプロジェクターをセットしただけありがたい。」との声をいただいている。 受講生の制作物の展示について「見ていて楽しい、励みになる」と評価された。 空調更新工事により、昨年度は冬に寒いという苦情があったが、快適になったと言われた。 【老人福祉センター】 ・地域包括ケア推進課や地域包括支援センターとの情報交換により、高齢者の関心が高い新規の講座を企画・開催し、好評を得た。 ・「包丁研ぎ講座」は、研いだ包丁を使って簡単な料理を作る講座で、女性だけでなく男性からも好評。	4
		(2) 苦情・改善等の要望事項	【公民館】 ・人気の講座の申込は、「電話が繋がらない」「先着順をやめてほしい」といった意見が根強い。 B.講座申込の際に受付終了とお伝えしたところ、何回も電話した繋がらなかったと苦情があった。 【老人福祉センター】 ・生きがいづくり講座の中に、募集定員を大幅に上回る講座がある。	
		《対応措置》	【公民館】 人気講座は先着順ではなく、抽選方式を今後検討する。 【老人福祉センター】 ・特定の方が長期にわたり受講者となっている講座について、先着順ではなく初心者優先とし受講者の底辺拡大を行った。	

4 事業収支

No. 80

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)		
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金	1,540,000	利用料金	1,514,800	歳入	使用料	70,500	使用料	137,520	3
指定管理料		32,640,000	指定管理料	32,640,000	雑(納付金)		1,971,892	雑(納付金)	1,849,730		
委託料		0	委託料	0	行政財産目的外使用料		0	行政財産目的外使用料	0		
販売収入等		0	販売収入等	0	貸付料		0	貸付料	0		
その他収入		171,272	その他収入	167,587	その他		0	その他	0		
			R5年度補填	2,169,601							
	計	34,351,272	計	36,491,988		計	2,042,392	計	1,987,250		
支出	人件費	15,280,726	人件費	14,950,162	歳出	指定管理料	32,640,000	指定管理料	28,616,000		
	設備管理費	2,925,600	設備管理費	2,739,901		委託料	0	委託料	121,000		
	備品購入費	0	備品購入費	0		需用費	1,579,690	需用費	1,509,004		
	修繕費	268,600	修繕費	123,321		役務費	0	役務費	0		
	光熱水費	9,888,391	光熱水費	9,962,626		使用料・賃借料	297,032	使用料・賃借料	291,866		
	事業費	2,536,715	事業費	2,927,126		修繕費	0	修繕費	0		
	事務経費	2,060,740	事務経費	2,310,830		工事請負費	3,817,000	工事請負費	17,499,000		
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費	0	備品購入費	0		
	その他	1,390,500	その他	1,390,100		その他	0	その他	0		
				R5年度補填		2,169,601					
	計	34,351,272	計	34,404,066		計	40,503,323	計	48,036,870		
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	0		2,087,922		差引	-38,460,931		-46,049,620			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									43.5%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			館長兼所長1人(1人)、主事1人(1人)、公民館事務職員2人(2人)、老福センター事務職員2人(2人)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

6 危機管理体制

※ すべて ☒ で、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 80

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☑	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	1 住民自治協議会の「教育・公民館部会」及び「福祉・保健部会」と連携し、共催事業を実施する。 2 吉田地区にある商業施設で実施している「ひな祭り」、「端午の節句」、「納涼祭」や「吉田ふるさと夏まつり」の行事を地区企業、吉田商工振興会との連携で行っていることを今後も推進する。 3 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り講座の講師、公民館・老人福祉センターの職員を地元から採用するように努める。 4 地域公民館との関係を大事にし、要請に応じた指導や助言を行い連携を図る。		4

【総合評価】

【施設評価計画】

評価項目		評価	得点	総合評価	
総合評価	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携 0 1 2 3 4 5 ----- 基準値
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	4	16	66	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	6		
	地域連携	4	8		
	評価理由	【利用者評価を4とした理由】 ・地域人材を活用した質の高い講座を提供することにより、利用者から高い評価を得ていること。 ・アンケートや聞き取り調査などから利用者の要望に沿った講座を新設し、受講者から好評を得たこと。 ・機器の操作に不慣れな高齢者グループなどに丁寧に柔軟な対応をし、高い評価を得ていること。 ・講座受講生の制作物の常設展示など、利用者のやりがいや自信につなげ活動意欲を高める取り組みをしていること。を評価した。 【地域連携】を「4」とした理由 ・地元出身の江戸時代の俳人「茂呂何丸」にちなみ、俳句大会を地域公民館や学校と連携して開催したり、「何丸音頭」を講習会や夏祭りを開催して継承し、地域の魅力をいかしていること。を評価した。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題		改善状況	改善案等(改善されていない場合)	
次年度の目標・ 取組み等 (施設所管課)	【公民館・老人福祉センター共通】 ・感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。				

指定管理者自己評価			
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 【公民館】 ・前年度、テスト的に土曜日開催したギター講座を成人学校で実施した。前回の受講生から、「継続して土曜日の参加はむずかしい」との声もあり、期待した参加が得られなかった。参加者は時間に余裕のある方が多く、今後の休日開催はむずかしいと判断した。講座自体は細やかな指導で好評であった。 ・本年度も、講座、サークル、個人の作品を積極的に展示した。職員の展示への働きかけが浸透してきた。3Fだけでなく、2F(支所のフロア)もお借りした。特に2Fの壁面は照明があたり、見栄えするので、土日も鑑賞できるように、シルバー日直さんをお願いして、日中照明を点灯していただいた。書道、絵手紙、水彩画に切り絵、写真等ジャンルも広がってきた。個人の展示だけでも年間5回から8回に増え、サークルを合わせるとほぼ毎月展示している状況である。 【老人福祉センター】 ・高齢者の関心が高い「介護予防」を目的とした講座として5講座(セラバンドでストレッチ、転倒・骨折予防、カンタンラクラくい体操、ディスコ、ステップ&ステップ)、リフレッシュやストレス解消を目的とした講座(3講座)や、これからの人生に役立つ情報を提供する講座(3講座)などを提供。また、要望を受け実施した2講座(包丁研ぎ講座、男性のカンタン料理教室)などを新設し、受講者の要望に応えた。 ・特定の方が長期にわたり受講者となっている講座について、先着順ではなく初心者優先とし、受講者の底辺拡大を図った。 ② 業務の効率化に対する取組み 【公民館】 ・年間実施する親子教室や読み聞かせ、クラフトバンド講座等で、前年度から引き続きボランティアの方に運営協力をお願いできた。ボランティアの調整は、講師頼みが現状である。 ・成人学校では、当番制を継続し、任せることができるものは、講師・受講者に委ね、自主性を醸成することに努めた。土曜日のギター教室は、職員が出動しないのを基本とした。 ・インターネットバンキング(八十二銀行)を取り入れ、給与、講師謝礼金を中心に振込業務の効率化と振込手数料の大幅削減が図れた。 【老人福祉センター】 ・複数の講座において、市関係者、サークルの講師や受講生に指導の依頼をし、講師謝礼金の軽減を図った。 ・インターネットバンキング(八十二銀行)を利用したことで、給与、講師謝礼金を中心に振込業務の効率化と振込手数料の大幅削減が図れた。 ③ その他 【公民館・老人福祉センター共通】本年度も光熱費高騰が続いたため、費用を抑えるため必要な修繕のみを行った。すべて老朽化が原因。調理室のシンク水漏れ(配管の仕様が異なるため発生ベースで対応)、壁面の不良コンセント交換、火災報知器の語発報対策として、調理室周辺の報知器をすべて新品に交換した。大教室のドイツ製の窓が破損したが、部品等の都合で次年度に修繕する。			
(2) 指定管理者業務実施上の課題 ・本年度も図書貸出し数が多く、リクエスト等の要望が数多くあり、その対応や調整に追われてしまう。 ・駐車場のスペースが少ない。総合市民センター教養のため、保健センターが頻繁に子ども検診を実施する際、所長、公民館長で満車対応を行っている。検診情報を共有化して、教室利用者に公的交通機関や、相乗りをお願いしているが、令和7年3月で向かいの東急ライフが営業終了し、立体駐車場(有料)も使用できないため、対応に苦慮している。市の会議で50名以上が利用する場合も同様である。 ・設備の老朽化が際立っている。多目的ホールの移動観覧席やステージの吊りもの関係は老朽化が甚だしい。毎年70万円近くの保守経費がかかっている。音響機器も同様で、ほぼ修理する部品がないので慎重に使用している。市としてこのホールの位置づけを明確にして、その方針に沿った改修が必要と思う。教室では、大教室、教室4など床タイルの剥がれ、ひび割れがひどい。机を移動する際に床タイルに負荷がかかり、タイル剥がれが拡大していく。養生テープで対応しているが、机の移動でテープも剥がれる。なるべく机の移動は最小限でお願いしているが、ヨガや体操のサークルなど机を必ず移動する利用も多い。その際にけがの心配もある。検討および対応をお願いしたい。 ・前年度、公民館の調理室近辺で火災報知器の誤作動が1週間で2回発生しご利用者、ノルテ住民の方に大変なご心配をおかけした。原因は現在も不明である。当時、公民館でできることはすべて最速で実施した。以後発生していないが、市としての対応を明確にしてほしい。 ・指定管理が5年間継続となった。吉田住自協は、方針決定まで時間を要した。その原因は、当初の3年間で指定管理の必要性や返した場合の対応について十分協議、検討ができなかったことである。今回は次の指定管理更新の判断に向けて、公民館も加わり検討を行って行きたい。 【老人福祉センター】 ・生さがいつくり講座の中に、募集定員を大幅に上回る講座があるため、次年度以降はサークル化も検討する必要がある。 ・講師謝礼金について、最低賃金上がる傾向を踏まえると、増額の必要性を感じている。			
(3) 総合評価	評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	C
① 評価理由 <施設管理> 9月1か月間、貸館を休止して、市の予算で全教室の空調機器交換を行った。貸館がないため、シルバー人材センターに委託している日直、当直業務を交渉の上休止した。それにともない、公民館がビル管理の安全面を考慮して、総合市民センターの施設責任者部署案を作成し、施工業者と交渉のうえ実施した。並行して、多目的ホールの水銀灯のLED化業者との調整も行った。翌月には、男女トイレの洋式化(各2台)を実施。予定通り、10月から貸館を支障なく再開できた。 <予算管理> 前年度、市の予算の関係で、電気・ガス料金の高騰による補填が実施できなかったため、赤字となった。本年度に入金いただき解消できた。予算・実績管理、予算作成等支障なく実施できた。 <労務管理> 6月で館長、職員1名が退社。11月にもう1名の職員が退社。公民館職員4名中3名が代わったため、ご利用者に今までと同様のサービスを提供すること、講座を予定どおり実施することを優先した。全員で協力し業務知識を高め合い、老福職員の支援もあり、ご利用者に迷惑を掛けることなく業務を実施できた。 <講座運営> 地域との連携事業は予定通り実施できた。年々業務が増えるが地域より信頼が得られていると考える。成人学校は1講座(お茶)中止したが、一般講座で実施。ギター講座を土曜日に実施。一般講座では職員の退職があり、中止4講座となったが、内容を吟味し2講座を復活させた。そのほか新たに4講座を実施した。 今年度は、職員の入れ替わりや2か月以上に渡る全館空調工事があったが、ご利用者に人気の講座や、良い施設環境を提供できた。これは不慣れな職員、ベテラン職員がより一層の努力を行った結果と判断する。一部計画どおりに実施できなかった講座があるが、総合的には当初の目標を達成したため評価は「C」とする。 【老人福祉センター】 ・アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行うことができた。 ② 次年度以降の取組み 【公民館】 ・「ご利用者にやさしい公民館」を継続する。 ・アンケートや聞き取りなどから要望を反映させた講座等の企画を行う。 ・定員を大幅に超える申込みがあった講座は、回数の増加を優先的に検討する。 ・初めての方や男性の参加者が少ずつ増えている。次年度も継続する。 ・回数増の要望があった講座は、受講生の要望を確認し、成人学校の講座で実施する方向で検討する。 ・先着順は止めて欲しい、電話がつかないとの苦情に対し、人気講座では抽選対応を検討する。 ・本年度同様に長野市民新聞を中心に週刊長野、ケーブルテレビ等のメディアに積極的に取材をお願いし広報として活用する。 ・高騰が続く光熱費について、情報の共有化を行い注視して行きたい。 ・ここ2年、多目的ホールの空調設備交換、水銀灯のLED化、ノルテナの空調設備交換、トイレの洋式化と、市の支援をいただいた。次年度は学びの課と情報の共有化を図りご利用者の利便性が向上する修繕、改修を検討したい。 ・体育館予約システムを利用した公民館予約システムが可動に向けて動き出す。貸館の多い公民館ほど事務負担が大きくなり、入力業務の増加でミスが発生する可能性がある。次年度は、職員4名中、勤務数か月の職員3名でのスタートとなる。通常業務の習得に加え、システム対応を行うため、老福の職員にも協力をいただき、ご利用者に支障がでないよう対応したい。 【老人福祉センター】 ・人気の高いフレイル予防運動講座の定員の見直しを行う。 ・男性が参加しやすい講座の開催について、引き続き検討を行う。 ・ボランティアの一層の育成に努める。			